

3 「図形」、「証明」においてよくつまづきが見られる内容と小・中・高の関連

○ 図形や証明に関するつまづき

小 図形の構成要素（直線、直角、辺、頂点、面）（小2）

三角形、四角形、長方形、正方形、直角三角形（小2）

二等辺三角形、正三角形、円、球、角、三角形の作図（小3）

台形、平行四辺形、ひし形、直線の平行・垂直、四角形の作図（小4）

直方体、立方体、直線や平面の平行・垂直、面積の概念（小4）

正多角形、おうぎ形、円周、円周率、中心角（小5）

図形の合同・決定、図形の性質（面積、平行線）、体積の概念（小5）

角柱、円柱、角錐、円錐、底面、側面、立面図、平面図、立体の表面積（小6）

線対称、点対称、図形の対称性、拡大図、縮図（拡大、縮小の割合）（小6）

比と比の値（単位量あたりという概念）（小6）

→ 中 基本の作図（中点、垂直二等分線、垂線、角の二等分線）（中1）

点の集合と図形（線分、半直線、円、多角形）（中1）

平行線の性質、三角形の合同条件、三角形や平行四辺形の性質（中2）

図形と証明（中2）

証明の意味（何をすれば証明したことになるのか）

定義と定理（定義と定理の違い）

図形の相似（比の概念の理解と図形への適用）（中2）

三角形の相似条件、平行線と線分の比、中点連結定理

円の性質（円と直線、円と円、接線）、円周角と中心角（中3）

三平方の定理（中3）

相似と計量（相似比、面積の比、体積の比）（中3）

→ 高 三角比（数I）

鈍角の三角比（鋭角の場合から拡張された定義）

図形の計量（公式の意味と適用）

式と証明（中学校の図形の証明との違い）（数A）

証明の意味、進め方、条件式の意味と用い方

○ 図形や証明の領域におけるつまづきの特徴

- ① 平行線と相似に関する図形の計量が苦手である生徒が多い。
- ② 問題文を解釈したり、図に表したりすることが苦手である。
- ③ 定義や記号を正しく理解していないためのつまづきが多い。
- ④ 証明を筋道立てて書くことができない生徒が多い。